学校番号	1201

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	(学)インターンシップ B	単位数	1 単位	年次	1・2・3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高齢者・障碍者施設などでの実習を通して高齢者・障碍者と関わり、それぞれの特性を知り、高校生としての関わり方を模索していく。
・高齢者・障碍者施設などでの実習を通して、職員の方々の態度・意識に触れ、将来の自分の職業や役割を考察する一助とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・介護施設での職業体験を通し、介護の基本的な知識、必要とされる基本的な技能を身につける。
・社会人の一員として望ましい心構えについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】
・介護現場での体験を通じて、高齢者との関わり方や介護職の役割について考察し、自分の言葉で表現、発信する力を養う。

・実習中に直面する状況に応じて、相手の立場に立った判断や対応を行う力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】

・高齢者との交流を通じて、思いやりや尊敬の心、命の尊厳についての理解を深める。
・介護という仕事の意義を知り、自らの進路や生き方について主体的に考える姿勢を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・高齢者・障碍者の特性、身体・精神の状況を理解する。 ・高齢者・障碍者を支える社会の制度を知る。	・高齢者・障碍者の気持ちに寄り添い、必要な手助け、働きかけを行う。	・実習において、積極的に利用者と関わり、現場の職員の方々の態度、関わり方を学ぶ。
評価については、可か不可のみを示す。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		・高齢者・障碍者の方と関わる。 ・高齢者・障碍者の身体的・精神的な状況を理解する。 ・社会の制度を学ぶ。	a:高齢者・障碍者の身体的・精神的状況を理解する。 b:関わり方を考察する。 c:自分の役割を考え、積極的に高齢者・障碍者と関わりを持つ。	活動 観察 レポート	レポート 発表	活動 観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度